

日高

Hidaka

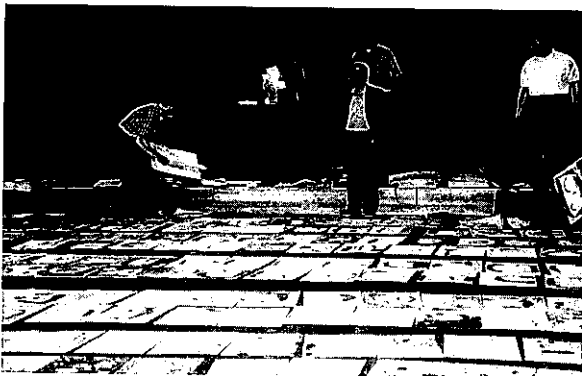
図画・ポスターの審査

日高歯科医師会では、来る7月17日(土)様似町において、第33回日高歯の健康まつり講演会を開催する予定ですが、それに先立ち、静内町において、管内小学校より募集したむし歯予防に関する図画ポスターの審査を6月27日(日)日高地方婦人会館にて行いました。

関係役員らが集まり、集まった図画・ポスターを低学年より並べ審査を開始しました。今年も管内小学校23校より応募があり、総数1,301枚もの多くの作品が集まりました。役員も作品を並べるなどの作業が進むにつれ、汗だくとなりながらも、児童の書いた力作に一枚ずつ審査を行いました。

会長賞に堺町小学校6年村上湖代さん、金賞に新冠小学校5年中島 光さんほか銀賞2名、銅賞3名、アイデア賞7名をはじめ優秀な作品は、様似町で行われる「日高歯の健康まつり講演会」会場内に展示することとなっています。

(酒井敏彦記)



美唄

Binoi

六根清浄，お山は晴天

美唄市、北東端の美唄山に6月新設された美唄ルートの登山道完成を祝っての山開きが11日(日)、現地で行われた。市内をはじめ、空知管内各地、札幌などから登山愛好家約3百人が参加し、できたばかりの登山道を歩きながら夏山の魅力を楽しんだ。美唄ダム駐車場で行われた開会式では、井坂市長が「悲願だった美唄側からの登山道が完成した。美唄の新たな観光スポットにしていきたい」とあいさつ。参加者は3班に分かれて登山を開始した。

登山道は4.4キロ。好天に恵まれ、尾根からは大雪山系の山並みが望め、近くは芦別岳、夕張側には夕張岳が望める。奈井江側には暑寒別岳から樺戸連山のピンネシリ、マチネシリの山並みが望める。急こう配のルートでは汗をぬぐいながらひと休みする参加者の姿も見られ、五段の滝、三段の滝も見られ、群生する高山植物のお花畑を縫って頂上を目指す。ヒグマの生息地とかで、クマ対策を忘れずに、山の楽しさを満喫するようにしたいものである。頂上までは約3時間のコースであり、この日臨時郵便局を会場のダム駐車場に開設。冬と春の山頂、山に咲くカタクリやエゾリュウキンカの花などの5枚組の記念はがきを販売する。登山愛好家諸兄の美唄山の登山を、また足に自信の向きには、美唄ルートから登り、山頂から奈井江口への縦走も陽の長い夏のうちなら楽しい山行となることうけあいです。美唄山にどうぞ。

(雨田 実記)